

1 開寿園 介護サービス提供方針

基本方針

利用者の「生活の質」の維持向上を目指す観点から、利用者本位の姿勢を旨とし、職員一人ひとりが利用者の立場に立って本人や家族のニーズを的確に把握し、施設職員が一体となって介護サービスを提供していきます。

重点事項

- 1 利用者の人権、プライバシーの確保し「その人らしい生活」の支援
- 2 地域の拠点としての開かれた施設
- 3 利用者の自立支援に向けてのユニット方式による個別介護サービスの提供
- 4 個別ケアプランに基づいた健康及び療養上の管理指導
- 5 生活リハビリテーションの充実
- 6 「身体拘束廃止しずおか宣言」の遵守
- 7 介護保険法、政省令に精通し、法令を遵守する
- 8 利用者の安全生活のための環境整備・職員教育
- 9 感染症も災害と位置づけ、防災訓練の実施又、地域福祉の為、事業の継続を想定した運営計画の作成、実施
- 10 介護記録ソフト・眠りスキャン等使い ICT 化を図り事業の効率化への反映

【生活相談】

ご利用前に、ご自宅に訪問・説明を行い、施設ご利用時の不安等を軽減してまいりました。ご利用中も訪室する回数を増やし、個人個人のニーズを汲取り、迅速に各部署にも報告・検討し、介護プランに反映してまいりました。

コロナウイルス感染予防の為、直接面会を制限させていただきましたが、ご家族様等には、入所者様の様子等を手紙・電話連絡・ご来園時にてお伝えしてまいりました。又、「藤枝市介護さわやか相談員」「体験学習・ボランティア」の受け入れが出来ませんでした。色々な形での福祉体験等をさせて頂きました。今後も新しい形での「ボランティア・地域」との繋がりを検討してまいります。

各事業所施設の特徴等を入所者・ご利用者様・ご家族様に、書類だけではなく「パンフレット」や別紙入所案内等を活用し解り易く説明し納得して契約まで進めてまいりました。

【介 護】

新型コロナウイルス感染症の位置づけは、令和5年5月8日から「5類感染症」になりました。しかし、施設の生活にはこれまでと同じように制限はあります。

その中で、利用者様の個人の選択を尊重し、生活の中に喜びや楽しみを感じられる行事、イベントを考え、案を出し合いました。

園内に植えたさつまいもを職員と利用者様と一緒に掘り、各フロア・ユニットで食のイベントを行いました。調理をされている姿は生き生きとされており、久しぶりに包丁を握ったよ、美味しくできるかな、など利用者様からは楽しかった、と感想が聞かれました。

年末には特養・ユニットが1つの会場に集まってみんなで年忘れ会を開催しました。利用者様が舞台にあがって歌ったり、職員が芸をしたり、マスクの上からもわかる笑顔いっぱい時間となりました。余韻が残る名残惜しい時間でした。

今年度新たに入職した仲間と共に、利用者様の生活に寄り添いながら自分たちの技術知識の向上に努めてまいります。利用者様主体の支援を念頭に置き、その人らしく暮らし続けられるように生活を支えます。

【ユニット介護】

令和5年度はコロナ禍ということで、各ユニットでの「食のイベント」が主になりました。開設以来続けてきた「食のイベント」でしたが、原点に立ち返りユニットケアの柱である自立支援、自己選択・自己決定、生活の継続の中で特に生活の継続に重点を置き、食のイベントを企画する過程で入居者様とコミュニケーションの中で話題として上がった食べ物・食材をイベントのメニューとして取り上げることを行いました。入居者様にとってなじみの深いものをイベントメニューにしたことで、入居者様が職員に作り方を教えてくれる様子も見られました。またこの「食のイベント」を企画する過程については、9月21日にグランシップで行われた第12回静岡県高齢者福祉研究大会で研究発表を行いました。研究発表会への参加は初めての試みだったため、ユニットリーダーが中心となり企画・資料作成等行いました。

入居者様の生活の質向上は職員の資質向上と比例すると念頭に置き、ユニット介護課全体でユニットケアの向上に努めてまいります。

【保健衛生】

令和5年度もコロナ渦で制限のある中でしたが、ご利用者様に心身共に穏やかに安心して生活していただけるように、健康診断の実施、医師の定期的な診察、内服薬の管理、日々の体調管理等行ってまいりました。また他職種と情報を共有し、ご利用者様とご家族様のご意向に添った最善な対応ができるように努めました。

感染症対策では、新型コロナ感染症は、令和5年5月8日に5類へと移行されましたが、リスクの高い高齢者が生活している施設においては、徹底した感染症予防対策は求め続けられたため、全職員対象に定期的に研修を行い、「感染症を持ち込まない・拡げない」の意識の継続と、統一した方法で対応が出来るようにスタッフへの実技訓練を行いました。厳重な対策をしていましたが、1月中旬より、新型コロナウイルス感染者が数名発生しまし

た。早期の隔離と拡大防止の対応を徹底することで最小限に留めることができました。

その後も日々変わる状況を細かく収集し、定期的に感染症対策委員会を開催し、全職員へ情報を伝えると共に注意喚起していきました。手指消毒や日常清掃などの環境整備を確実に行うことが感染予防対策の行動の基本と痛感しました。

看取り介護については、新入職員へ「看取り介護とは」の基本的な研修を行い、人生の最期を迎える方との接し方、日頃からご利用者様と触れ合うことの大切さ、思いを受けとめることの必要性を学んでいただきました。

また、ご家族様を含めたチームとして統一したプランのもと支援を行い、令和5年度は106歳の方をはじめ、10名の方が穏やかに最期を迎えられ、お見送りする事が出来ました。ご利用者様の尊厳を第一に考え、また自己の資質向上に努めながら、引き続き、他職種と協力して、開寿園介護理念の『その人らしく暮らし続けられるように生活を支えます』を忘れずに、ご利用者様が安心して施設で生活を送れますよう努めてまいります。

【給 食】

毎日の生活の中で、大切な「食べること」へのお手伝いをする事ができました。季節に合った食材の使用・行事食各種選択食、ご利用者様に喜んで頂いた献立を積極的に取り入れるように努めてきました。

ご利用者様個々の客観的、主観的データを元に、身体状況を把握し、適切な食事(療養食・除去食・代替食)を提供してきました。又、きめ細かく個人の嗜好に対応し、食事形態や提供方法(その方に合う食器・皿・スプーン等の使用)を各職種と相談・協力しながら進める事ができました。

又、感染症対応については、基本的な衛生管理を基に抗原検査や手指消毒を確実にを行うなど、職員1人1人の健康には十分注意して、食品(食材)の安全性に努め、毎日の衛生点検を行い、安心安全な食事の提供をしてまいりました。

【通所介護事業所】

ご利用者様の住み慣れた地域での自立した生活の継続とご家族様の介護負担軽減の為、ケアマネージャーや他事業所等との綿密な連携を図り、通所介護計画の作成や可能な限り要望に答える事で、サービスの充実や質の向上に取り組みました。

また、ご利用者様個々の身体状況に合わせた食事や安全で快適な入浴の提供、季節感のある創作活動や・運動レク・脳トレリハビリ・お花見外出・園外歩行訓練など毎月多様な行事を通じ、ご利用者様の心身機能の維持向上に努め、満足度が上がるよう心掛けました。質の高いサービスが出来るよう定期的な職員研修や会議を行い、常に向上心を持ち必要な介護知識や技術を身につけ職員の資質の向上に努めました。

万が一に備え日常的な防災予防を図るとともに事故や災害を想定した避難・通報訓練を定期的に実施しました。

また安全、安心な送迎を実施する為の研修、意識の向上、アルコールチェック等により安全運転に万全を期して参りました。

感染症に対しては基本的な感染予防対策を継続し、日常生活や活動への参加は感染リスクを下げる工夫や情報の共有に努め、安心して利用出来る環境作りに取り組みました。今後もその人らしく暮らし続けられるように、職員一同元気と笑顔に満ちたサービスの提

供と魅力のあるデイサービス作りに努めてまいります。

【居宅介護支援事業所】

ご利用者及びご家族が安心して在宅で生活できるように、関係機関との連携を取りながら利用者の立場に立って公正中立に居宅サービス計画を作成しました。

また、特定事業所として24時間連絡体制を確保し、時には休日を返上しご利用者及びご家族に支障が無い様に対応してまいりました。

コロナウイルス感染拡大防止のため、感染対策の徹底と各事業所との連携を図り情報収集にも努めました。

「藤枝市介護支援研究会」「合同事例検討会」や、「在宅医療部会」「緩和ケア検討会」などの医療系研修会や、その他の研修会にはWEB等にて参加し、自己研鑽・情報収集や共有に努めてまいりました。施設独自の対応として「ふれあい会食会」の送迎の協力を行いました。

今後も、地域包括支援センターと協力し、地域の様々なニーズに合わせた対応を継続し、利用者の変化や取り巻く環境に合わせて柔軟に対応してまいります。

【地域包括支援センター】

新型コロナウイルス感染拡大防止策として不測の事態が発生した場合においても業務継続計画（BCP）に基づき業務の継続に努めました。包括主催の会議等については感染拡大防止に努め参集形式またはオンライン形式等を状況に応じ開催いたしました。

個別課題の解決に向けて、「地域ケア会議」と「ネットワーク会議」を定期開催し、多職種連携、医療連携、特にケアマネジャーと民生委員との連携強化に取り組みました。

認知症事業については、新オレンジプランをベースに「認知症の方と家族の会：ほっと会」「居場所輪笑」「本人ミーティング」「男性介護者の会」「若年性認知症の方への支援：さくらの会」への協力に取り組みました。

「認知症初期集中支援チーム」「高齢者虐待コアメンバー会議・対応会議」では、利用者の尊厳を保持し、行政や主治医との連携を図り迅速な問題解決に努めました。

地域課題の解決への取り組みについては、地区社協、自治会、民生委員、ボランティア、第2層生活支援コーディネーター等と協働し企画委員会等の関わりの中で、生活支援、介護予防の側面からの情報提供を積極的に発信し、より良い地域づくりに向けた取り組みに参画しました。

在宅医療・福祉・介護との連携については、藤枝市が取り組んでいる「藤の花 かんかんネット」、「在宅医療サポートセンター：シズケアかけはし」等の事業への協力、研修参加に努めました。

「我が事、丸ごと 地域共生社会」の実現を目指すため、高齢者領域を超えて障害者領域である障害支援相談員等との情報交換会を開催し専門外の知識習得と情報共有に努めました。

静岡県介護支援専門員協会の常任理事、中部支部等への協力と藤枝市介護支援研究会の運営委員及び研修会への参加を引き続き行いました。

地震・風水害等の災害発生に備え、日ごろから災害時の避難行動に支援が必要な高齢者等の把握に努めました。市や地域等が開催する防災関係会議に参加し避難訓練、避難所設置訓練に参加しました。

2 開寿園利用者の生活と状況

1 1日の過ごし方(多床室)

時間	利用者	日 勤	早 番	夜 勤
4:00				巡回
5:00				
6:00	起床・洗面・着替え 水分補給・トイレ誘導・			起床・洗面支援・口腔ケア 水分補給・検温・排泄支援
7:00	排泄支援 朝食		朝食支援	朝食準備 朝食支援・与薬支援
8:00	トイレ誘導・排泄支援		排泄支援	巡回・ケース記録・PTイレ処理
9:00	ラジオ体操 入浴 ・リハビリ (月)あやめ(火)ひまわり	申し送り 排泄支援・入浴支援	申し送り 入浴支援	夜勤報告 ゴミ搬出
10:00	お茶の時間	シーツ交換・水分補給		
11:00	トイレ誘導・排泄支援 食事前体操	昼食準備	職員昼食	
12:00	昼食	昼食・与薬支援		
13:00		排泄支援		
14:00	トイレ誘導・排泄支援 入浴 おやつ	職員昼食 職員申し送り	職員申し送り	
15:00	各種行事 トイレ誘導・排泄支援	入浴支援・おやつ支援 ケース記録	入浴支援	
16:00		排泄支援 申し送り 夕食準備	排泄支援	
17:00	夕食	夕食 与薬支援		申し送り・夕食準備 ゴミ収集・洗面台洗浄 夕食 与薬支援
18:00	トイレ誘導	排泄支援		口腔ケア・排泄支援 職員夕食
19:00	水分補給			水分補給・与薬支援 検温
20:00	排泄支援			排泄支援・体位変換
21:00	消灯			消灯 21:00～2:00(1H)休憩
22:00				巡回
23:00				
0:00	排泄支援			排泄支援・体位変換
1:00				巡回
2:00				
3:00	トイレ誘導・排泄支援			体位変換

1日のすごし方(ユニット)

時間	入居者	日勤	早番	夜勤
4:00				巡回
5:00	※排泄介助はその方の排泄パターン時間による			
6:00	起床・洗面・着替え			起床・整容支援
7:00	水分補給			水分補給・検温・排泄支援
8:00	朝食		朝食・服薬支援	朝食準備 朝食・服薬支援
9:00	ラジオ体操 入浴・リハビリ (水)れんげ(木)しらふじ(金)さくら	申し送り 入浴支援	申し送り 入浴支援 体位変換	夜勤報告 ゴミ搬出
10:00	水分補給	シーツ交換・水分補給支援		
11:00			職員昼食	
12:00	食事前体操 昼食	昼食準備 昼食・服薬支援		
13:00				
14:00	入浴 おやつ	職員昼食		
15:00	各種行事	入浴支援・おやつ支援 ケース記録	入浴支援・体位変換	
16:00				
17:00	水分補給 夕食・服薬	申し送り 夕食準備 夕食・服薬支援		申し送り・夕食準備 ゴミ収集・洗面台洗浄 夕食 服薬支援
18:00	歯磨き・口腔ケア			口腔ケア 職員夕食
19:00				水分補給・服薬支援
20:00				検温 体位変換
21:00	消灯			消灯 21:00~2:00(1H)休憩
22:00				巡回
23:00				
0:00				体位変換
1:00				巡回
2:00				
3:00				体位変換

2 市町別入所者数(多床室・ユニット)

令和6年3月31日現在

	男	女	計	令和4年度
藤枝市	11	61	72	69
焼津市	0	2	2	1
島田市	0	1	1	1
静岡市	0	1	1	0
東京都立川市	0	1	1	1
計	11	66	77	72

3 入所者の状況(多床室 定員48)

令和5年度

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	令和4年度
初日在籍	43	44	44	45	47	47	48	48	47	45	45	44	-	-
入所	1	1	2	2	1	1	0	1	1	0	1	3	14	13
退所	0	1	1	0	1	0	0	2	2	0	2	0	9	15
末日在籍	44	44	45	47	47	48	48	47	45	45	44	47	-	-
延入所者	1,297	1,383	1,340	1,421	1,452	1,435	1,488	1,426	1,428	1,395	1,299	1,427	16,791	16,402

稼働率 95.6%(令和5年度) ・ 93.6%(令和4年度)

入所者の状況(ユニット 定員30)

令和5年度

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	令和4年度
初日在籍	29	29	28	28	28	29	30	30	29	30	30	30	-	-
入所	0	0	2	2	0	2	0	0	2	0	0	1	9	9
退所	1	2	2	1	0	0	0	1	1	0	0	1	9	8
末日在籍	29	27	27	28	28	30	30	29	30	30	30	30	-	-
延入所者	870	870	842	884	868	895	930	890	904	930	870	930	10,683	10,449

稼働率 97.3%(令和5年度) ・ 95.4%(令和4年度)

4 入所者の年齢(多床室・ユニット)

令和6年3月31日

	~69	70 ~74	75 ~79	80 ~84	85 ~89	90 ~94	95 ~99	100~	計	平均	令和 4年度
男	1	1	4	1	0	2	2	0	11	82.8	89.3
女	0	2	2	10	12	21	14	5	66	90.0	90.2
計	1	3	6	11	12	23	16	5	77	89.0	89.6

5 入所前の生活(多床室・ユニット)

令和6年3月31日現在

	家 庭				施 設				病 院	合 計
	家族と同居	老人夫婦	一人暮らし	小計	養護	療養	その他の施設	小計		
男	3	1	1	5	2	0	3	5	1	11
女	21	5	6	32	5	3	20	28	6	66
計	24	6	7	37	7	3	23	33	7	77

6 入院の状況(多床室)

令和5年度

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	1	2	1	0	0	4	4	0	0	1	3	2	18
計	1	2	1	0	0	4	4	0	0	1	3	2	18
入院日数	3	32	12	0	0	59	52	0	0	8	7	62	235
令和4年度	12	0	31	0	25	20	62	15	19	49	10	0	243

入院の状況(ユニット)

令和5年度

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	4
女	1	1	0	2	1	0	0	0	1	1	1	1	9
計	1	1	0	2	2	0	0	0	1	2	2	2	13
入院日数	10	1	0	20	23	0	0	0	15	45	58	48	220
令和4年度	6	13	15	30	17	5	3	39	52	31	0	0	211

7 通院の状況(多床室)

令和5年度

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男	1	2	3	1	5	1	2	2	3	2	2	1	25
女	11	12	8	9	9	13	3	7	9	14	10	8	113
計	12	14	11	10	14	14	5	9	12	16	12	9	138
令和4年度	15	10	16	15	11	14	18	13	19	13	8	12	164

通院の状況(ユニット)

令和5年度

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
男	0	1	1	1	1	3	3	2	0	2	0	1	15
女	11	11	10	9	4	9	2	12	9	8	9	8	102
計	11	12	11	10	5	12	5	14	9	10	9	9	117
令和4年度	10	10	12	8	9	11	8	13	11	8	5	9	114